

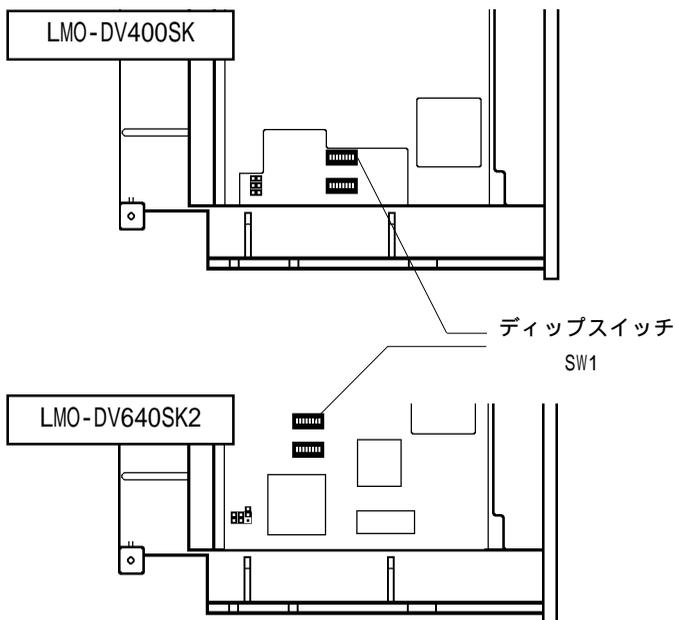
# 第2章 接続について

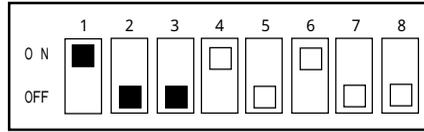
## 2.1 接続の前に

### SCSI IDナンバーの設定

本製品を接続する前に、本製品のSCSI IDナンバーを確認/設定してください。この設定は本製品天面のディップスイッチで行ないます。

本製品は出荷時設定でIDナンバー「4」に設定されていますので、外付け/内蔵のSCSI機器でこれと重複するものがある場合は、設定を変更してください。ただし、本製品のIDナンバーは必ず「2」以降に設定してください。





出荷時設定

IDナンバーの設定

ID 0	ID 1	ID 2	ID 3																								
<del> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table> </del>	1	2	3	■	■	■	<del> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table> </del>	1	2	3	■	■	■	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	1	2	3	■	■	■	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	1	2	3	■	■	■
1	2	3																									
■	■	■																									
1	2	3																									
■	■	■																									
1	2	3																									
■	■	■																									
1	2	3																									
■	■	■																									
ID 4	ID 5	ID 6																									
<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	1	2	3	■	■	■	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	1	2	3	■	■	■	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	1	2	3	■	■	■							
1	2	3																									
■	■	■																									
1	2	3																									
■	■	■																									
1	2	3																									
■	■	■																									

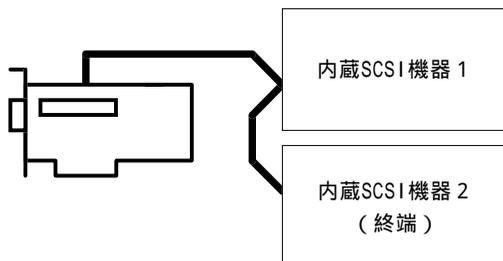


ご注意

- ・ IDナンバーの設定以外のディップスイッチは、初期設定のまま変更しないでください。
- ・ 本製品のIDナンバーは必ず「2」以降に設定してください。これは一部のSCSIアダプタで「0」/「1」がBIOS制御のハードディスク用に使用されるためです。

## ターミネータについて

SCSIでは接続の終端となる機器にターミネータを取付けなければなりません。内蔵SCSI機器の場合は、「終端」となる機器は下の図のようになります。



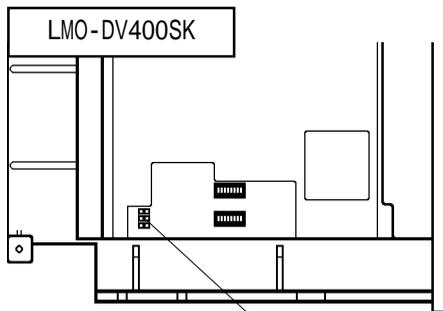
本製品は内蔵ターミネータを持ち、ジャンパースイッチで有効/無効を切り替えることができます。(出荷時設定:有効)上図の「内蔵SCSI機器 1」のように終端とならない位置に接続する場合は、次ページのジャンパープラグをピンセットなどで取り外し、内蔵ターミネータを無効に設定してください。



### ご注意

---

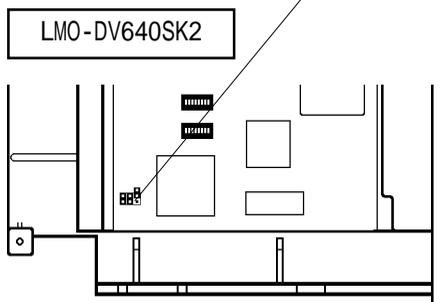
- ・ターミネータ設定以外のジャンパースイッチは初期設定のまま変更しないでください。
  - ・内蔵SCSI機器と外付けSCSI機器を両方使用している場合、SCSIアダプタ上のオンボード・ターミネータを無効にしなければなりません。多くの場合、このターミネータは自動的に無効になりますが、旧タイプのSCSIアダプタではディップスイッチ、ソフトウェアなどで無効にしなければならない場合があります。  
内蔵SCSI機器と外付けSCSI機器を両方使用する場合は、SCSIアダプタのマニュアルでオンボード・ターミネータが自動的に無効になるか確認しておいてください。
-



ターミネータ：有効  
(出荷時設定)



ターミネータ：無効



ターミネータ：有効  
(出荷時設定)



ターミネータ：無効

